

# リハビリテーション医学

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

《履修上の留意事項》オムニバス授業で毎回の授業内、授業後に行うレポート課題により成績判定を行うため、欠席しないのは勿論のこと、毎回しっかり予習して授業に臨むこと。

《担当者名》 小川太郎 平島淑子 中川賀嗣 飯田貴俊

## 【概要】

リハビリテーション医学とはさまざまな病態、疾患、外傷などにより生じた機能障害をできる限り回復し、残存した障害を克服しながら社会復帰を進める医学である。そのため対象となる疾患も幅広く、病期も急性期から維持期、さらには病前の予防にまで及ぶ。

本講義では、リハビリテーションに関わる各職種の役割を理解し、リハビリテーションにおけるチーム医療のあり方を学ぶとともに、各種障害の捉え方と評価方法、介入方法などのリハビリテーションの実際等について、代表的疾患を通して学んでいく。

## 【学修目標】

### 【一般目標】

医学としてのリハビリテーションの適応範囲、それぞれの職種が果たすべき役割について理解し、チーム医療を担う医療人として必要な知識を身につける。

### 【行動目標】

1. リハビリテーション医学の概念、リハビリテーション診療の概略について説明できる。
2. 代表的疾患のリハビリテーションについてその概要を説明できる。
3. 各病期におけるリハビリテーションの目的、目標を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	リハビリテーション診療	リハビリテーション医の役割と診断から処方、治療までの流れについて理解する	小川太郎
2	脳血管疾患のリハビリテーション	脳卒中や頭部外傷後のリハビリテーションについて理解する	小川太郎
3	神経難病のリハビリテーション	パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病のリハビリテーションについて理解する	小川太郎
4	運動器疾患のリハビリテーション（上肢）	上肢の外傷や疾患に対するリハビリテーションについて理解する	平島淑子
5	運動器疾患のリハビリテーション（下肢）	下肢の外傷や疾患に対するリハビリテーションについて理解する	平島淑子
6	小児疾患のリハビリテーション	脳性麻痺や発達障害などのリハビリテーションについて理解する	平島淑子
7	精神疾患のリハビリテーション	統合失調症やうつ病、高次脳機能障害などの神経・精神疾患に対するリハビリテーションについて理解する	中川賀嗣
8	摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害に対するリハビリテーションについて理解する	飯田貴俊

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【アクティブ・ラーニング】

導入している

## 【評価方法】

授業内容に関する自分なりの意見や解釈についてレポート課題を課す 100%

## 【教科書】

日本リハビリテーション医学会 監修 「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」 医学書院 2022年

**【備考】**

出欠席など授業以外の問い合わせは作業療法学科浅野雅子まで  
asanom@hoku-iryo-u.ac.jp

**【学修の準備】**

本講義では、様々な疾患や基礎医学的知識を必要とするため、しっかりと予習して授業に臨むこと(2時間)、復習、レポート作成は教科書だけでなく、参考書や各領域の専門書も活用すること(2時間)。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2. 理学療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**

小川太郎(医師)、平島淑子(医師)、中川賀嗣(医師)飯田貴俊(歯科医師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

それぞれ医師、歯科医師としての病院での臨床経験をもとに講義する。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している